

開 議

○**渋谷佐輔議長** おはようございます。

これから本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、5番、平進介議員1名であります。

よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

本日の会議は、配付しております議事日程第2号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○**渋谷佐輔議長** 日程第1、市政一般に関する質問を行います。

なお、質問の時間は、答弁を含めて60分以内となっておりますので、ご協力をお願いいたします。

それでは、順次、ご指名いたします。

宇津木正紀議員の質問

○**渋谷佐輔議長** 順位1番、議席番号1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 私は、一問一答方式の質問をさせていただきます。

それでは、活力と生きがいのある長井市になることを願い、以下の大きな2項目について質問いたします。簡潔で明瞭な答弁をよろしくお願いいたします。

大きな1番目は、観光交流センターについて

であります。

ことしの4月21日オープンした観光交流センター「道の駅 川のみなと長井」、長いものですから、以下道の駅と途中省略させていただくこともありますので、よろしくお願いいたします。

道の駅は、好スタートを切ってにぎわっております。市民からの評価もおおむね好評で、当局関係者や指定管理者の職員の皆様のご努力に敬意を表します。

道の駅のこれまでの状況をお聞きして、今後の運営上の課題と方向性について考えていきたいと思っておりますので、通告どおり順次質問を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

まず、(1)の道の駅の販売実績等についてであります。

道の駅の販売実績等については、5月22日の全員協議会で4月21日から5月17日までの数値を報告していただきました。その後の販売実績等を伺いたいと思います。

まず、直近の実績として、全体の販売実績と直売所・菜なポート、物産コーナー、軽食コーナー、それぞれのコーナーごとの販売実績について商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** おはようございます。

4月21日のオープンから5月31日までの販売実績についてご報告いたします。

まず、全体の販売実績でございますが、5,918万8,000円でございます。直売所・菜なポート分につきましては3,289万6,000円、物産コーナーにつきましては1,810万5,000円、そして新たに誕生しましたフードコーナーにつきましては818万7,000円となっております。以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 6,000万円近い売り上げがあったということで、非常に好調かなと伺ったところです。直売所・菜なポートは大体半

分以上で、物産コーナーは1,800万円です。3割、軽食コーナーは16%ぐらいかなと、ざっと見たところでそんな割合かなと感じました。

この5月の1カ月間の販売実績を伺いたと思います。菜なポート、それからタス2階にありました物産館の販売実績で、前年5月の1カ月間と比べてどのような実績だったのでしょうか、商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 昨年5月との比較でございます。菜なポート南店の昨年5月の販売実績は1,768万2,000円でございます。ことしは1,427万3,000円と減少しておりますが、道の駅の直売所で2,114万3,000円と売り上げを伸ばしております。

物産コーナーにつきましては、タスビル内で販売していた昨年5月の485万1,000円から、1,213万9,000円と大幅に売り上げを伸ばしております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 菜なポートは、去年約1,800万円、物産館485万円だったのが南店が1,400万円、道の駅が2,100万円、タスの物産館が道の駅へ来たら1,200万円と、ここではもう約2.5倍の売り上げを果たしていると。去年の菜なポートとことしの道の駅の直売所で比較しても20%アップで、南店と合わせると大体3,400万円です。2倍になっているということで、大変良好な実績で、出店者の努力とか販売職員の熱心な取り組みがあったからこそと感じたところでもあります。

私が出席したある会合で、道の駅をよくしていくには市民はそれぞれ持っているものを出し合うことが大事だとおっしゃる方がおりました。私もそのとおりだと思います。私もほんの少しですが、山からごみなどの山菜をとって出品させていただきました。道の駅に山から帰ってパック詰めして出品しに行くと、レジの係の方

から私にまでお疲れさまですと明るい声をかけてくれました。もちろんお客様にはたくさん声をかけておりました。このような明るい雰囲気が良好な実績に結びついたと感じております。

さて、全員協議会で曜日の販売実績の説明も若干ありました。多い順に日曜日、土曜日、少ないほうでは月曜、火曜との説明でしたが、曜日別の売り上げの割合、道の駅についてどうなっているか、商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 曜日ごとの割合についてご報告申し上げます。

オープニング、そしてゴールデンウィークを除いた5月の通常ベースの第2週から集計をいたしました。月末までの集計で、月曜日は12.0%、火曜日は10.2%、水曜日は12.2%、木曜日は11.5%、金曜日は12.2%、土曜日は18.1%、日曜日は23.8%となりました。

なお、5月22日の全員協議会では少ない順に火曜日、月曜日というふうに申し上げましたが、月末までの集計でちょっと一部違う結果が出ました。少ない順に火曜日、木曜日という結果になりました。以上、ご報告申し上げます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** わかりました。ありがとうございます。

日曜日が大体24%ということで一番多いと。次の土曜日は18%と。平日なんです。菜なポートの場合は月曜日は割と売れてるんですが、月と水と金が12%台で同じぐらいだということで、少ないのは火曜日と木曜日だということで、随分菜なポート南店の傾向とは違うなと感じたところです。客層が多分違うからだと思います。

道の駅では、私としては農産物や山菜の売り上げ増を予想していましたが、地元のお菓子販売も好調との話を伺っています。どのような菓子の販売が好調なのでしょう。また、その要因をどう分析しているのか、商工観光課長に伺

います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 主に、かりんとうや煎餅、ラスク、だんごや餅といったものが売れております。各お店の定番商品、特に郷土菓子など、手軽に購入できるという状況であることから売り上げ増につながっているものと分析しております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 私もちよっとお土産買いに、先週の金曜日、道の駅に行ってきた話聞いたら、かりんとう、固有名詞言うとなんですが、あやめかりんとうがよく売れてるというようなことで、これは想定外だったなと私は思っています。

ほかの道の駅でよくあるんですが、売れ筋ナンバーワンとかナンバーツーとかナンバースリーとか、そういうものを表示して、お客様が買いやすいようにして売り上げを伸ばすという方法が幾つかの道の駅で見られました。例えば地元長井のお菓子、売れ筋ナンバーワンとか、そういうのを表示したらいかがでしょうか。これはあんまりいっぱいつけるとごちゃごちゃしてくるんでナンバー5あたりまでつけるとか、お客様の目を引く工夫もしたらいかがでしょうか。

例えば今は、あやめだんごが出されておりました。長井のお菓子で一番よく売れるお菓子で、季節的にもこれからどんどん売れると思います。あやめだんごは、市内のお菓子店が共同して開発した長井の伝統のお菓子であります。道の駅でもぜひ、あやめだんごは出ますので、多分今、あやめだんごは売れ筋ナンバーワンではないかと思えます。その辺、検討をいただければと思います。

これまで私が伺った販売実績などの情報は、出品の参考になると思えます。これらの情報を、もう少し落ちついてからになると思えますが、

いつか出品者に説明していただく機会を設ける考えはないのか、また、4月21日の観光交流センターの開業からここまでの市長の率直な感想を伺います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

宇津木議員おっしゃるように、やはりどういったものが売れているのか、あるいは全体の売り上げがどうなってるのかというのは、出品者の方、あるいは登録いただいている方にとっては大変知りたい情報だと思いますので、通常は年に1回の出品者の方の総会とか、あるいは役員会等々は開いてるんでしょうけども、それでは大体秋口とか、あるいは2月ぐらいにやっておりますので、適時そういった報告会を少し早目に行うということと、もう一つは少し、これからあやめ、さくらんぼの時期で忙しいんですけども、封書等々で出品者、登録者の方々に情報をやはりお知らせしなきゃいけないんじゃないかなど。これらについては、ぜひ早急に情報を便りとして送付するように指示したいと思えます。

また、質問にはないんですが、先ほどの宇津木議員のご提案であるポップですけども、あれはなぜああいったことを飲食店やいろんな販売店でやってるかということ、選択肢がいっぱいありますと迷うんですね。私なんか売れ筋が5番目とか6番目まで書いてますと、この中から選ぶのかなど非常に安易に考えますので、そういったことなども買い物しやすいように心がけるように、なお協議してまいりたいと思えます。

率直な感想ということでございますけれども、開店の日も随分指定管理者である地場産業振興センターと、あるいは商工観光課などとも協議して決めたわけですけども、開店の時期もよかったなというふうに思いますが、まずはスタートがいいスタートを切れてほっとしてるところでございます。これもハードの部分でいろいろ

苦勞した建設課を初め施工業者の皆様、そして運営についていろいろ協議をいただきました商工観光課と産業活力推進課、そして指定管理者である地場産業振興センター初め多くの皆さんのさまざまな検討とか協議とか苦勞があって、まずはいいスタートを切れたというふうに思っていますが、これも恐らくお盆ぐらいまでは何とかなるんでしょうけども、この秋から冬が一番厳しいと思っておりますので、それらに向けて気を引き締めながら頑張っていきたいと。

なお、約1カ月、2カ月近くなるわけですが、随分いろんな方々から提案と申しますか、改善案を出していただいていますので、これらについても随時行っておりますが、特にこれから多分一番繁忙期を迎えますので、万全を期して気を引き締めながら努力してまいりたいと思います。大変いろいろご指導いただきまして、まことにありがとうございました。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 市長、ありがとうございます。次の項に移りたいと思います。

直売所の登録者をふやせないかという質問があります。

道の駅の直売所は、品不足のときがあります。特に午後から夕方にかけて非常に少ないときもあります。そこで、直売所の登録者をふやして品物をふやせないかと思えます。直売所の指定管理者の説明では、当分の間は登録者をふやさないとしています。平成22年4月の菜なポートの開業時も同様であったと記憶しています。そのときの登録者をふやさないとした理由と当分の間の期間とはどのぐらいだったか、当時菜なポートの開業に携わった商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 7年前の菜なポートの開業時は実験店舗という位置づけでございましたが、それまで経験したことのない新規事業で

ございました。スタッフのなれや運営が軌道に乗るまで、登録者の追加を見合わせた経緯がございます。文字どおりゼロからのスタートであったこともございます。

このゼロからのスタートということをやっと詳しく申し上げますと、スタッフにつきましては、緊急雇用で雇用された方々が新年度着任されてから店舗準備に当たりまして、膨大な量の個人コードの入力とか商品の入力などに追われておりました。次に、店舗運営、それからコストシステムの問題がございました。やはり日々の売り上げがデータとして蓄積して、月2回の出品者への口座に入金するという、こういった流れがうまくいくかどうかの検証が必要であったこと、そして一番大きかったのが、出品者、生産者の方々のラベルプリンターの操作ということがございました。今でこそ流れるように皆さん操作されておられますが、オープン前、開店時間に間に合うようにラベルプリンターを操作して店頭に品物を並べるということが非常に困難をきわめておりましたので、出品者の方を少しでもふやしたいということはあるんですが、開店時から1カ月間ほど見合わせた経緯がございます。私からは以上でございます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** なれるまで1カ月間、登録者をふやすのを見合わせたということ、わかりました。ありがとうございます。

市長に伺いたいと思います。先ほどの市長の答弁であったとおりに、秋から冬は厳しいという考え、市長はお持ちのようです。私もそう思います。品不足対策として直売所の登録者をふやせないか、市長の考えを伺います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** おっしゃるとおりに、やはり特に農産物をふやさなければいけないというふうに思っております。ただ、道の駅がだんだん完成して形が見えてから、あれ随分ぜひ出させ

てほしいという方がふえたそうなんです、とりあえずはやはりいきなり観光交流センターというのは大変だろうということから、時期を見てということで、これは現場のほうに任せておまして、当面は加工品のほう、これも随分出させてほしいということが依頼がありまして、とりあえずはタスの2階の物産館から観光交流センターに移る際に随分アイテムを絞りましたので、一旦絞るときながらまた新たなものをすぐ受けるというのは、やっぱり今までおつき合い何十年もいただいた方に申しわけないということで、時期を見てということで一旦6月の中旬ぐらいから少しふやすということで考えていたようですが、これらについては実際のところはお盆ぐらいまではなかなかアイテムはふやせないのかなと思ってまして、やっぱり8月末から9月ぐらいに検討しながら、まずは加工品を中心に、そして農産物のほうは菜なポートとあわせて、その辺なども出品いただく方と協議をしていただいて決めていきたいと思っております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 当面加工品中心にふやす努力をしたいと、お盆過ぎあたりから農産物も考えていきたいというような市長の考え、わかりました。

5月の連休のときにお客さんすごくいらっしゃって、そのときやはり山菜とか農産物なんかはとても間に合わなくて、市内のところだけではなくて、南陽市からオカヒジキを相当助けてもらったと私は見えています。オカヒジキは長井市とかぶらないと、長井市の農産物とかぶらないと。やはり長井市でつくってる道の駅ですから、市民とか市内の業者さんがファースト、あくまでもそうだと思います。品目がかぶらないとか時期がかぶらないとか、その辺をまず絞って近隣の市と町から出品を願うとか、去年の2倍売り上げがあって、それで足りないのが今の状況だと思います。長井市の生産者だけでは

とても追いつかないので、お互い近隣とは良好な関係も必要だと思いますし、そこら、これは事前に通告してなかったんですが、市長の考えがあれば、そんなに深く突っ込みませんので答弁をお願いいたします。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 宇津木議員おっしゃるとおりなんですが、販売を任せております駅長のほうと何回か私も協議しまして、最終的には駅長の判断に任せております。というのは、私が常時いるわけでありませぬし、やっぱり向こうは販売のプロですので、ただ、議員おっしゃるように、まずは市民の皆様の出品というのが一番でございますので、品物がダブって、その品目だけ多くてはだめだということでもないと思っておりますので、ぜひその辺もバランスをよく考えていくように、再度協議しながら指示をしていきたいと思っております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** ありがとうございます。指定管理者の運営ですから、こんなところだと思います。

3番目の(3)の無料循環バス運行について伺いたいと思っております。

無料循環バス運行の実績で、ルート別の運行回数と乗車人員、乗車率について、商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 無料循環バスまわるんの運行状況等についてご報告申し上げます。

循環バスについては、ルートを変えながら4コース、延べ331便、4月、5月で運行をいたしました。まちなかルートは、4月が44便、71人乗車、5月は121便、120人乗車。久保ザクラルートは4月のみの運行で、32便、208人乗車。大明神ザクラコースも4月のみでございまして、24便、164人乗車。長井ダムルートは5月のみで、110便、225人乗車となっております。

乗車率について申し上げます。まちなかルートは平均1.2人、久保ザクラルートは平均6.5人、大明神ザクラルートは平均6.8人、長井ダムルートは平均で2.0人となっております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 以前運行しましたまわる人と比べると、乗車人員は多くなっていると感じます。ふえた理由について、商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 乗車人員がふえた理由について申し上げます。

ふえた最大の理由といたしましては、道の駅駐車場に車をとめることができるという利便性がございます。さらに、その時期にマッチしたコース選定で、全てのコースが1時間以内に回れるコースとなったこと。それから、運行してからの改善点といたしまして、運行日に館内アナウンスを入れたり、やまがた長井観光局でのPR、それからマスコミ報道、マスコミのご協力いただいたのPR効果などが要因として考えております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** ふえてはいるんですが、午前9時から第1便は出てるんですね。最終便は4時までと。道の駅にいらっしゃるお客さんは11時から午後3時までがピークと見えています。この時間帯に合わせた便を検討する考えはないか、また二次交通が困難な人に絞ってPRするとか、非常に難しいと思いますがガイドを同乗させるとか、乗車を誘導する仕掛けを検討できないか、市長の考えを伺います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** お答えいたします。

やはり一番乗っていただくには、例えば何回もリピートされてる方というのはあんまりいらっしゃると思うんですね。たまたま長井にいらして道の駅に、観光交流センターにお寄り

いただいたと。少し時間に余裕があるといったときに、やはり館内の案内、館内放送といたしますかね、それと観光案内所ということでやまがた長井観光局の職員がおりますので、そちらの連携がまず重要だと思ってます。それと、バス停の前に職員が立って、こういうコースでこれから出ますよと、時間に余裕がある方、どうですかみたいな呼び込みも必要だというふうに思っており、最初はちょっと戸惑っておったんですが、やはりゴールデンウィークあたりからようやく軌道に乗って利用する人がふえたのだと思っております。

一方で、乗っていただいた方の感想なども実はこの間、長井市の功成会の総会の際に元平市長から、少し乗ってるときに案内をしたらどうだと、例えば運転手さんはずっと黙って運転してると。右手に見えるのが長井小学校ですとか、今、第一校舎の木造校舎、これは昭和8年のもので、これを再利用するために工事を行ってますとか、あるいは長井ダムへ行く途中で右側のが野川ですと、大変きれいな水が売り物の、この上流が長井ダムだとか、そういうことを言ったらいいんじゃないかと、少しアナウンスが足りないみたいな話がありましたので、そういうことなども運営を委託しておりますタクシーの協会のほうにもお願いしながら、研修などをしていただくなどを行っていかなきゃいけないと思っているところで、課題はたくさんありますけれども、工夫次第ではもっともっと活用いただいて、まちなかとか市内のいろんなところに市外からいらした方にお越しいただける重要な役割を担うんじゃないかなと思ってるところです。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** ありがとうございます。

以前テレビで放映になってたんですが、仙台市の循環バスは運転手さんの案内が非常に好評

だということで、途中でおりないで最後まで乗ってってしまうということがあるということで、運転手さんに余り負担かけ過ぎて事故が起きたら元も子もないんですが、余裕を持ったコース設定でぜひバスの運転手さんに少しでもいいから長井の案内をしてもらえば、やはり反応は全然違うのかなと思いますので、ぜひ積極的に進めていただければと思います。

全国の道の駅から無料循環バスが出てるというのはあんまりない、私は道の駅を101カ所回ったんですが今のところ全然見てないもんですから、非常にいい取り組みだと思うんです。ぜひ育てて行って、多くの方に乗っててもらえば大変いいのかなと思います。

では、4番目、長井の麺と菓子についてであります。どっちが表かわからないんですが、反面が長井の麺で反面は長井の菓子ということで、300円で道の駅から市内の書店でも売っていますが、それが300円のクーポンがつくという非常にお得な本でありまして、この本でもって長井とか道の駅にいらっしゃった方を市内へ誘導するという、市内の経済波及効果を狙っていて、私は大変いいことだと思っています。ここまでのぐらい販売されているか、またクーポンは8月末で切れます。その後の対応をどのように考えているか、市長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** まず、5月末までの麺本、菓子本の販売状況でございますが、5,000部印刷して1,000部の販売だというふうに聞いております。それで、1カ月ぐらいで5,000部のうち1,000部というのは普通は少ないんですけども、私も出版の業界におりましたので、特に営業のほうを担当でしたので、そこから見たら5,000部で1カ月で1,000冊しか売れないということは、後どんどんどん下がっていきますので、しかし、販売の箇所が書店が2店舗、そして観光交流センターの3カ所がメインでしたので、

そこからいったら非常に売れたと思っています。

ただ、私もうっかりしてお願いするのを忘れてしまったんですが、やっぱり販売促進のほう非常に手薄だったと。中身はいいんですね。かなり苦勞されて、なかなかいい本だなと、サイズもいいです。しかし通常は、市内の書店からもアドバイスあったようですが、ポスターを用意してもらえればよかったということなんですが、通常5,000部だとしても、小さい本ですから目立たないんで、まずはどこに置いてもらうかということで、販売促進費を払って売るところに置いてもらうというのはあるんですね。例えばレジ脇であったり、あとは平積みする場合だったら書店入ってすぐ目立つところとか、そこを買うんですよ、1カ月幾ら幾らで。こういうことをやっぱりすればよかったなということと、あとポップですね。ポスターはなかなか、大きい書店は別として、張れないですよ、場所がなくて。ですから、ポップをちゃんと発売するところにつくって、そのポップと一緒にお願いするというようなことをすると多分もっともっと売れたんじゃないかと。皆さん気がつかないんですね。観光交流センターのほうでも最初は全く売れなかったんですが、いろいろアドバイスしたらすぐ職員が気のきいたポップとか、あと場所もきちんとしたところへやって、それから売れたようですので、そういったことをすればよかったなと反省しています。

2点目の8月31日でクーポンが終わるということなので、その辺はどうかということなんですけども、まだ6月で、多分麺本、菓子本を買われた方は、本当に買う人だったらすぐ長井にいらっしゃると思うんですよ。すぐ使われると思いますので、これから遅くないので、そういった販売促進費を使って書店さんにぜひ売ってくださいということをお願いすれば、ある程度売れると思います。5,000部のところを残り4,000部は切っているわけなんですけども、7月い

っぱいぐらいであと1,000部、2,000部は間違いなく売れるなどというふうに思いますので、そこをお願いしていくということと、あともう一点は、特にこれはまちなか誘導の一つの作戦としてつくったわけですね。市外から来られた方にぜひまちなかに入っていただくということでクーポンをつけたわけですが、それが8月いっぱいということですので、まず一つはまる得クーポンというのを観光交流センターでつくってございまして、それは市内の飲食店とか、あるいは販売店さんのほうでお得なコースを設定しまして、それを観光交流センターの案内窓口でクーポンとして買えると、2割ぐらいお得だと、それを続けていくと、PRするというのと、あわせて8月31日以降は改訂版をつくったらいんじゃないかなと。もう少しふやして、著作権はあるはずですからそんなにお金かかりませんので、ぜひその辺をもう一回第2弾としてやるべきかなと考えているところがございます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 私は1,000部というのはすごい数だなと思ってます。長井市で2,000部本を売るとするのは非常に困難なことだと思いますので、それは多分超す長井のベストセラーになることと思います。

山形市でも売ってもらっている。わかりました。期待したいと思います。

次、5番目の菜なポート南店について伺います。

最初、全協では25%の減額から15%程度の減額と、よく踏みとどまっていると感じています。それをどのように分析しているか、商工観光課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 中田浩之商工観光課長。

○**中田浩之商工観光課長** 菜なポート南店の状況についてご報告申し上げます。

去る5月22日の全員協議会で、オープンから

5月17日までの状況で、対前年比25%減の傾向でありますというふうにご報告いたしましたが、その後、月末までの販売で持ち直しまして、対前年比15%の減額ということで推移をしております。

こういった傾向の分析といたしましては、7年間同所で直売所を事業展開をしているというようなことで、これまでの培った安心・安全ということに加えて、お客様がまたもとの菜なポート南店のほうに回帰していただいたということ、それから、中心部のスーパーの代替機能を果たしているということに分析してございます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 共倒れも心配されたんですが、共存共栄で大変15%減でもよかったなと私は感じております。

それでは、時間ありませんので、次の道の駅の今後の周辺の整備について伺います。

道の駅東側の三角地帯は未整備であります、今後どのような整備をする計画なのか、また、本格的に整備するまでの間、職員用や仮設の駐車場として活用できないか、建設参事に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 青木邦博建設参事。

○**青木邦博建設参事** お答えいたします。

道の駅駐車場東側の市道神明野川線と最上川堤防に挟まれたエリアにつきましては、当初、芝生広場を予定しておりましたが、昨今のアウトドアブームや車中泊人気を背景に道の駅を利用する方がたくさんいるということから、トイレ等の利便性があり、メイン駐車場とも隔離されたRVパークの設置を予定しているところがございます。

敷地面積は約600平方メートル弱ありますので、キャンピングカーとは限定されませんが、一般の1台当たりの駐車スペースより広い4メートル掛ける6メートル以上の区画が必要とされておりますので、このエリアで5台から6台

の駐車台数が確保できます。

昨年度よりやまがた道の駅ビジョン2020が創設され、上限500万円の市町村への財政支援が受けられ、RVパークの補助対象になることから、県のほうに問い合わせをしているところですが、昨年度、情報ディスプレイで一度利用しておりますので、県内のほかの道の駅の状況を見ながらということになります。

この場所は、工事期間中に雪おろし場となった関係で地中がまだ緩い状況にありますので、今後転圧と敷き砂利を行いまして、方針が決まるまで仮設駐車場としてご利用いただくつもりでおります。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** RVパークということで、やはり車中泊とかキャンピングカーとか、ゆっくり泊まれるスペースを確保できるということはいいことだと思いますので、ぜひ県から認めていただけるよう、頑張ってくださいと思います。

道の駅にいらっしゃった多くのお客さんが堤防の上まで上がっていただきます。残念ながら、河川敷にはその先まで延ばしていただく施設がありません。非常にもったいないと感じています。

私は、アヤメ科の花公園、アイリスパークはどうかと以前提案しましたが、今回の補正で河川緑地事業の実施設設計委託料が計上されております。整備手法として、道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」では国交省の補助をいただき、隣接する河川敷を整備されたのを聞いております。どのような整備だったか、産業参事に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 谷澤秀一産業参事。

○**谷澤秀一産業参事** 昨年、宇津木議員からのご提案もありまして、道の駅「あいづ 湯川・会津坂下」のほうに視察に行ってきたところですが、ここの道の駅は機能に応じたエリア

分けを行ってございまして、3つのエリアがありました。1つは道の駅エリア、2つは川の駅エリア、3つ目は人の駅エリアでございます。

この中の川の駅エリアでございますが、この整備手法がかわまちづくり事業による多目的レクリエーション、あるいは川の学校などの水辺活動を行う憩いと親水の拠点として整備されておりました。

ご質問の河川敷の整備においては、川の駅エリアで、かわまちづくり事業における護岸整備において国の補助を受けて整備したと伺っております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** ありがとうございます。

長井と同じようにかわまちづくりに取り組んでおられるということで、共通点はあるのかなと感じました。

市長に伺いますが、道の駅東側の河川敷の整備について、ドッグランなんかもいいんじゃないかと思っておりますが、今回の補正で計上されますタスビルの東側から道の駅の東側までの整備と、その下流側、道の駅の東側の整備をどのように考えているか、考えを伺います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 宇津木議員おっしゃるように、せっかく長井に来て観光交流センターへいらして、堤防に上がったけれども残念ながらおられないのかという声が随分あったようでございます。議員からございましたように、もともとあそこはかわと道の駅ということで、道の駅と同時に河川敷の整備をしたいということで、タスから長井橋のところまで4.7ヘクタールぐらいあるんですけども、それを国のほうで、じゃあかわまちづくりの一環として購入して、それを市のほうで借りていろいろ利用させてもらおうという計画だったんですが、残念ながらやっぱり議会の理解が得られなくてこれは断念したわけですけども、今後何とかここを生かしてい

たいということで、議員ご指摘のとおり、今回補正をさせていただいたところでございます。

そして、その中の使い方でございますが、ドッグランというのも一つだと思いますし、私どもとしては、まずはタス周辺の文化会館もございますし、何かあった際に駐車場が全く足りないということから、購入いただいたのが4.7ヘクタールのうち残念ながら2ヘクタール近くは購入いただいたんですね。でも、どうやら道の駅が無理だというふうに国のほうで判断したのか、そこからもうストップされてしまいまして、その部分を除いた、ちょうど観光交流センター、道の駅のちょっと上流ぐらいまでは買っていていただいてますんで、そののところに、それから緑地広場みたいな形で多目的な使い方ができるところ、その中にドッグランとか、あとはRVパークという話ありましたけども、それがもっと拡大でできるかどうか、あとはバーベキューとか芋煮会とかができるようなそういうエリアとか、あとはフットパスと隣接していますので、さまざまな使い方が考えられると思いますので、今後議会の皆様を初め市内の団体、市民の皆様からご意見をいただいてぜひ活用したいと思っておりますが、ただ、以前は補助事業でできたんですが、昨年度から補助事業では河川敷の中はできないというふうになりましたので、今後国土交通省と協議をしながら、こういった方法でやっていくか検討していきたいと思っております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 補助事業がなくなったというのは大変残念なことだと思いますが、何とかお金もかからなくて魅力のある多目的広場とか、駐車場はやっぱりいろんなお祭りのとき必要で不足してますので、ぜひいいものをつくっていただければと思います。ぜひ川のみなどの名にふさわしいような整備をしていただければと思います。

それでは、大項目2番目のかわまちづくりについて伺いたいと思います。

(1)の白川河川緑地の整備について伺います。

平成29年度の事業として、最上川河川緑地整備事業・かわまちづくり（白川河川緑地）整備基本設計委託料331万7,000円を計上しております。白川河川緑地はどこに整備されるのか、面積はどのぐらいなのか、所有者はどなたなのか、建設課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 多田茂之建設課長。

○**多田茂之建設課長** 今の質問についてお答えをいたします。

整備場所につきましては、上流部はフラワー長井線のちょうど白川にかかる鉄橋から下流は白川と最上川の合流点、ちょうど河井地区の最上川ビューポイントがありますが、そこまでの延長約2キロメートルの高水敷になっております。そして面積ですが、国土交通省で築堤整備のために買い上げた面積約3ヘクタールとなっております。そして、所有者は、その築堤事業において平成26年度に国のほうから購入いただきましたので、国の所有となっております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 白川鉄橋から合流までの2.2キロの間の3ヘクタールなんですけど、3ヘクタールの場所はどの辺なんですか。

○**渋谷佐輔議長** 多田茂之建設課長。

○**多田茂之建設課長** 白川のちょうど右岸側のほうの築堤整備の川側といいますか、その場所になっております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 新しくできた白川大橋と白川橋の間と理解しました。そこでよろしいんですか。

(「鉄橋からです」の声あり)

○**1番 宇津木正紀議員** 鉄橋から合流地点までは、次に出てくるかわまちづくりの範囲じゃな

いんですか。白川河川緑地というのは3ヘクタールのところの整備じゃないんですか。

○**渋谷佐輔議長** 多田茂之建設課長。

○**多田茂之建設課長** 新しい白川橋の南側、北側も含めて、ずっとフラワー長井線の鉄橋からビューポイントまでの2キロのエリアです。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 市長に伺います。

白川河川緑地は何を目的に、いつまで整備するのかお聞きいたします。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○**内谷重治市長** 簡潔に申し上げますが、まずは築堤で3ヘクタールぐらいどうしても買わなきゃいけないと、それを活用していただけないかと、でないとなかなか買えないというような話がございまして、地元と相談してさまざまな使い方を検討しよう。今、豊田地区公民館を中心として、豊田ふるさと振興会というところがさまざまな計画を立てていらっしゃいます。

基礎の部分は、国のかわまちづくり事業を再度認定いただきましたので、ことしから35年まで6年間ですね、下地をつくっていただいて、並行して平成30年から36年までかな、そうですね、6年間を今度私ども市のほうで、地元と一緒に上物をつくっていくという考え方であります。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** その設計をして、地元と協議しながらつくっていったって、やがては公民館のほうで管理してもらうということによろしいでしょうかね。はい、わかりました。

時間がありませんので、最後の項に移ります。かわまちづくり計画について伺いたいと思います。

平成29年度の施政方針の中で、観光交流センター整備の端緒となった長井地区かわまちづくり計画は、豊田白川地区に係る変更が国の認可を待つばかりとなっており、最上川河川緑地と

あわせ、国土交通省、地元の皆様とともに連携して取り組みを継続してまいりますと、かわまちづくりに触れております。かわまちづくり計画の豊田白川地区に係る変更とはどのような変更なのか、国の認可はおりのたのか、あるいはいつごろおりの予定なのか、建設課長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 多田茂之建設課長。

○**多田茂之建設課長** 豊田白川地区計画になりますが、平成24年度から国土交通省が実施した白川築堤事業より生じた新たな高水敷と、その周辺の利活用について、その土地が放置しておけば雑木やかやが繁茂して荒地になってしまうということから、ふるさとを守り活用していくという地区の思いから、国土交通省と市、地域が連携をして整備を行う計画、事業期間を平成29年度から平成35年度としたものでございまして、長井地区かわまちづくり計画の変更になりますが、ただいまの豊田白川地区計画を当初の長井地区かわまちづくり計画に追加をして事業期間の変更を行ったものが長井地区かわまちづくりの変更で、事業期間を22年度から平成28年度だったのを平成35年度までに延期をして変更したものでございます。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** 28年度までが35年度まで変更したと。国が認可がおりのたのかという、いつおりののかについて再度伺います。

○**渋谷佐輔議長** 多田茂之建設課長。

○**多田茂之建設課長** 国の認可につきましては、平成29年3月7日に変更の認定となりまして、3月30日の道の駅の竣工式におきまして、東北地方整備局より局長がいらっしゃいまして認定書を授与させていただいております。

○**渋谷佐輔議長** 1番、宇津木正紀議員。

○**1番 宇津木正紀議員** この豊田白川地区に係る変更で、長井市にどのような影響があるのか、これからの方向性について市長に伺います。

○**渋谷佐輔議長** 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今までは最上川沿いのフットパスということで、それとあわせた中央地区に面する部分の築堤等々を整備いただいたわけですが、同時に、ご存じかと思いますが、河井山のトロッコ道というところの整備もお願いしていただきました。これが白川のかわまちづくりのほうも一緒にしていただいたということから、それを結ぶということができると思っていますし、あわせて河井山と隣の今泉の八ヶ森という山がありまして、この周りにいろんなトレッキングのコースとして非常に有望なことから、今泉駅のほうでもいろんな活用方法をJRさんのほうでも計画してるようですので、そこから長井に結ぶ非常に長い距離のフットパスをすることができるということから、いよいよフットパスをどういうふうにして、もっともっと根づかせていくかということの検討に入っているかなきゃいけないと思ってるところです。

○渋谷佐輔議長 1番、宇津木正紀議員。

○1番 宇津木正紀議員 ありがとうございます。これで質問を終わります。(拍手)

浅野敏明議員の質問

○渋谷佐輔議長 次に、順位2番、議席番号2番、浅野敏明議員。

○2番 浅野敏明議員 おはようございます。

一般質問、1日目の2番目、創生会の浅野敏明でございます。このたびの一般質問では、一問一答方式で、中心市街地の活性化と官民連携による公共施設施設整備等について、大きく2点の質問を行いますので、よろしく願いいたします。

1番目の中心市街地の活性化についてご質問します。

長井市中心市街地活性化基本計画、以下中活

計画とします、が平成28年3月に認定されてから1年3カ月が経過しました。中活計画では、1つ目、市民と観光客が集い、魅力あるまちづくり、2つ目、商業活動の活性化と多様な雇用の創出によるにぎわいのあるまちづくり、3つ目、快適で安全に暮らせるまちづくり、この3つの基本方針を定め、まちなかのにぎわい創出や交流人口の拡大を目標としています。

コンパクトなまちづくりを実現していくため、都市機能の無秩序な拡散防止や中心市街地への都市機能の集積を推進する上で不可欠な計画だと思います。

まちなかのにぎわい創出に係る主な事業として、1、本町複合施設整備事業、2、公共複合施設整備事業、3、起業・創業支援事業、交流人口の拡大に係る主な事業として、1、観光交流センター整備事業、2、観光地域づくりプラットフォーム事業、3、フラワー長井線再生事業を掲げています。

まず、それぞれの主要な事業の概要と進捗状況について、産業参事に伺います。

○渋谷佐輔議長 谷澤秀一産業参事。

○谷澤秀一産業参事 中心市街地活性化基本計画の目標は、大きく2つ掲げております。1つはまちなかのにぎわい創出、そしてもう一つは交流人口の拡大です。この目標を達成するために、それぞれ主要な事業を合わせて6事業組んでおります。これらについて、概要と進捗をご説明いたします。

まず、まちなかにぎわい創出のための事業3件ですが、初めに、本町複合施設整備事業です。これは、本町中央十字路の周辺に各個店を集約した商業複合施設の整備を行うものでありまして、幅広い世代の人が集まり、憩う場となっており、まちなかのにぎわい創出につながる事業であります。事業主体は、若者が中心のまちづくり会社となっております。進捗としましては、まちづくり会社で構想を考えておりますが、平成30